

2016年7月8日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 佐藤 真久

ベトナム国ベンチェ省水管理事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2016年7月4日(月) 13:59～16:28
- ・場所：JICA 本部(1階 111 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、佐藤委員、柴田委員、鋤柄委員
- ・議題：ベトナム国ベンチェ省水管理事業(協力準備調査(有償))に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配布資料：ベトナム国ベンチェ省水管理事業(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポート 事前配布資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第71回委員会)

- ・日時：2015年7月8日(金) 14:29～16:45
- ・場所：JICA 本部(1階 111・112 会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 大気質状況の提示において、その調査地点を FR に追記すること。
2. マングローブ種、マングローブ林、マングローブ群等の用語を統一し、それぞれの定義を FR に明記すること。
3. 水系感染症の指摘において、「家庭用水の水質が主な原因と思われる下痢の発病件数が多く、依然顕著のままとなっている。」と FR に追記すること。
4. 既存 EIA の更新等の現状について FR に記載すること。
5. 本調査の中で土地利用計画原案の作成を行い、この更新・モニタリングを支援する付帯技術協力事業プロジェクトを提案したことを FR に明記すること。

代替案の検討

6. 包括的な代替案の検討において、「中小規模水門建設」を最適と位置づける理由を他の案と比較をして FR に明記すること。
7. 「代替案の検討」及び 8 か所の「中小規模水門建設」の事業効果について、記述の内容を整理し、FR に追記すること。

社会配慮

8. 事業対象地域の漁業に対する影響はほとんどないと評価したこと、並びに、その理由を FR に明記すること。
9. 社会影響への緩和策（土地利用と地元資源の活用）において、ベンチェ省に対する土地利用計画の策定能力向上に関する技術支援プロジェクトの形成の可能性を検討し、FR に追記すること。

ステークホルダー協議・情報公開

10. 個々のステークホルダー協議における参加者属性の概要、および協議で発言した参加者の属性（男女別、職業別）を FR に追記すること。

その他

11. 土地利用の変化によって、農薬や化学肥料利用量の増加に伴う影響が生じた場合は、必要に応じてモニタリングと緩和策を検討することを実施機関に提案すること。

以上